

# 『英學史會報』・『英學史論叢』

## 総目次 及び 著者別索引

— 『英學史會報』第1号～第20号／『英學史論叢』第1号～第22号 —

事 務 局  
竹 中 龍 範

日本英学史学会中国・四国支部が日本英学史学会広島支部として発足し、その設立総会を広島市平野町のみゆき会館に開催したのは昭和 52 (1977) 年 11 月 10 日のことであった。その設立準備委員会の場において決定された事項のうち、会員の研究発表の場として年 1 回の支部総会に合わせて研究例会を開催し、加えてさらに年 1, 2 回程度の研究例会を開催すること、ならびにその成果を公的に発表する方法として機関誌を発刊することとを決定した。そして、この機関誌の名称を『英學史會報』とすることが了承されたが、「会報」とは銘打ちながらも、いわゆる newsletter にとどまらず、研究誌としての性格を持たせることが申し合わされた。

こうして支部創設とともにその第一歩を踏み出した『英學史會報』は、連綿と発行を続け、平成 10 (1998) 年にはその誌名を『英學史論叢』と改めて、平成 29 (2017) 年発行の『英學史論叢』第 20 号を以て通巻 40 号を数えるにいたった。その間には、事務局を預かっておられた松村幹男先生が広島大学の西条移転にともなって多忙を極められ、『英學史會報』の編集・発行に支障をきたす事態となったため、この休止期間中に受理していた論考は、新規投稿分と併せて『英學史會報』第 8～13 合併号 (1990) に掲載するということがあった。一方では、『英學史會報』第 16 号 (1993) からは ISSN (国際標準逐次刊行物番号) が付与され、定期刊行が求められることともなった。

日本英学史学会の各支部がそれぞれの機関誌を発行しているなか、われらが『英學史會報』・『英學史論叢』は最長の歴史を有している。そこに発表された研究論考は 130 編に垂んとし、ほかに研究ノートや英学史随想、英学史時評も各号数編を数える。これらを記録にとどめることは、『英學史論叢』第 10 号に「『英學史會報』・『英學史論叢』30 年のあゆみ」として事務局編によりまとめられており、さらに中国・四国支部のホームページにも掲出されている<sup>2)</sup>。これは、『英學史會報』第 1～20 号・『英學史論叢』第 1～9 号分総目次をその内容とするものであるが、今回、これに『英學史論叢』第 22 号までの掲載分を増補し、あわせて著者別索引を附することとした。 [竹中記]

1) 『英學史會報』から『英學史論叢』へと誌名を改めた経緯については『英學史論叢』第 1 号 (1998) に掲載の「改題の辞」を参照されたい。

2) 支部 HP には別に「『英學史會報』・『英學史論叢』所収論考一覧」として「會報」第 1～20 号、「論叢」第 1～20 号までの掲載記事一覧が上げられている。

# 『英學史會報』・『英學史論叢』 総目次

『英學史會報』第1号～第20号・『英學史論叢』第1号～第22号

## 『英學史會報』第1号 1977（昭和52）年12月

- 定宗一宏 あいさつ  
池田哲郎 広島支部発足に際して  
妹尾啓司 英学史随想(1): 西欧文化の日本的展開—洋学史研究序説  
松村幹男 日本英学史学会広島支部結成までの経緯  
広島支部設立総会記録／会則／設立趣意書／会員名簿・役員／事務局だより／編集後記

## 『英學史會報』第2号 1978（昭和53）年12月

- 定宗一宏 [巻頭言] ファリントン氏を訪ねて  
小山東一 二つのイギリスと日本  
寺田芳徳 英学の原型を求めて—マックガッフェイ第一読本  
松村幹男 広島における英語教育史研究  
江川義雄 富士川游の業績について  
竹中龍範 藤村作の英語科廃止論—その国語観・国語教育観との比較において  
田村一郎 川上音二郎の翻案劇『オセロ』  
神島武彦 英学史随想(2): 『増訂華英通語』の日本語  
妹尾啓司 [英学史時評] 初期英学書蒐集の必要性  
会員名簿・顧問・役員／受贈書目一覧／昭和53年広島支部例会記録／事務局だより／編集後記

## 『英學史會報』第3号 1980（昭和55）年2月

- 定宗一宏 [巻頭言] 日本英学史学会第16回大会  
竹中龍範 勝俣銓吉郎『英和活用大辞典』の系譜  
縫部義憲 浦口文治のグループ・メソッド  
田中正道 フランシス・プリンクリーと『語学独案内』  
荒木敬輔 英学することの意味—英語教育との関連において  
五十嵐二郎 「小学校教則大綱」(明治24年)と英語〔その1〕  
田村一郎 坪内逍遙の沙翁初訳『自由太刀餘波鋭鋒』  
寺田芳徳 公文書に表れた庄原英学校

妹尾啓司 備後における英学

定宗一宏 広島外国語学校・英語学校について

松村幹男 英学史随想(3): 木原齊先生のこと

竹中龍範 英学史時評(2)

松村幹男 日本英学史学会第16回大会をふりかえって

日本英学史学会第16回大会プログラム／同研究報告(レジュメ)／同シンポジウム「  
広島の英学」／同講師発言要旨／昭和54年度広島支部例会記録／同総会記録・決算書／  
受贈書目一覧／会則／会員名簿・顧問・役員／事務局だより／編集後記

## 『英學史會報』第4号 1981(昭和56)年6月

定宗一宏 [巻頭言] 「広島の英学史」研究完成をめざして

[研究発表]

深沢清治 A. S. Hornby 研究(1): ISED, ALD にみられる lexicography

寺田芳徳 広島高等師範学校附属中学校における英語教育の史的概観—覚書(一)

五十嵐二郎 英学史随想(4): 英語伝来の理由

寺田芳徳 英学史時評(3)

昭和55年度広島支部例会記録／同総会記録／受贈書目一覧／会則／会員名簿・顧問・  
役員／事務局だより／編集後記

## 『英學史會報』第5号 1982(昭和57)年3月

定宗一宏 [巻頭言] 広島県英学史の完成をめざして

[研究発表]

竹中龍範 R. B. マッケロー・片山寛『英語発音学』とその意義

高垣俊雄 日本の英語教育における Direct Method の歴史

田中重行 眼鏡と時計伝来考

多賀徹哉 外山正一著『英語教授法』について

—正則文部省英語読本第一巻との比較において—

小篠敏明 Palmer 博士 Three Lectures について

—晩年の Palmer 博士像を追って—

[寄稿]

松村幹男 英学史時評(4)

多田保行 英学史随想(5)

深沢清治 英学史随想(6)

昭和56年度広島支部例会・総会記録／受贈書目一覧／会則／会員名簿・顧問・役員／  
事務局だより／編集後記

## 『英學史會報』第 6 号 1983 (昭和 58) 年 3 月

定宗一宏 [巻頭言]

[研究発表]

深沢清治 大分高商時代の A. S. Hornby

高橋久 言語学と英語の辞書

新谷孝雄 旧制忠海中学校の暗記暗誦と DECLAMATION

高垣俊雄 日米交流の先駆者—平原善松

山本勇三 広島英和女学校とゲーンズ校長

多田保行 明治期の英文典について—英語学習のルーツを探る

[寄稿]

五十嵐二郎 英学史時評 (5)

竹中龍範 英学史随想 (7) : 英語教育史研究の体系化の必要

昭和 57 年度広島支部例会・総会記録／受贈書目一覧／会則／会員名簿・顧問・役員／事務局だより／編集後記

## 『英學史會報』第 7 号 1984 (昭和 59) 年 5 月

定宗一宏 [巻頭言] 明治の近代化と洋学

[研究論稿]

野村勝美 明治後期の英語教育史—三次中学校のばあい

寺田芳徳 英学の文化と福音—庄原における英語教育と伝道

木下徹 『ナショナル・リーダー』再考—今日の視点から

竹中龍範 杉浦重剛と私立東京英語学校

松村幹男 明治期における誠之館の英語教育—明治 40 年代を中心に

[寄稿]

松村幹男 英学史時評 (6) : 静かなる流れのなかで

昭和 58 年度広島支部例会・総会記録／受贈書目一覧／会則／会員名簿・顧問・役員／事務局だより／編集後記

## 『英學史會報』第 8～13 号合併号 1990 (平成 2) 年 5 月

定宗一宏 [巻頭言]

[研究論稿]

竹中龍範 明治中期における小学校の英語教育

竹中龍範 遠藤隆吉と英学

寺田芳徳 広島藩の英学・英人ブッラクモアの招聘

小篠敏明 H. E. Palmer 年表 (1) 1887 年から 1926 年まで

竹中龍範 岡倉由三郎の *The Japanese Spirit*  
河口 昭 英学者・浅田栄次再考—浅田栄次資料展を回顧して  
河口 昭 英学徒・石田憲次, 岩崎民平—その MOTIVATION の解明  
河口 昭 山口における Edward Gauntlett

[寄稿]

五十嵐二郎 英学史時評 (7) : コミュニケーション重視の英語教育  
—コメニウスに学ぶ—

日本英学史学会広島支部 1989 年度活動報告 / 会則・役員 / 編集後記

## 『英學史會報』第 14 号 1991 (平成 3) 年 5 月

定宗一宏 [巻頭言]

[研究論稿]

田中正道 イギリス帰国後のハロルド・E・パーマー

野村勝美 明治期中等教育における英語教授法について

—三次中学校「金 義鑑」教諭の所論を視点に—

妹尾恭子 ハーンのネルヴァル観

松村幹男 洋学者・市川兼恭について

松村幹男 種田織三に関する報告—明治英語教育史研究—

[寄稿]

高橋 久 [追悼] 平賀春二先生

藤田尚男 See and do! Don't think too much! (西丸和義先生の思い出)

竹中龍範 垣田直巳先生追悼

日本英学史学会広島支部 1990 年度活動報告 / 会則・役員 / 編集後記

## 『英學史會報』第 15 号 1992 (平成 4) 年 5 月

定宗一宏 [巻頭言]

[研究論稿]

田中正道 綴字改革に対するハロルド・E・パーマーの見解

妹尾恭子 幻想空間に於けるネルヴァルとハーン

河口 昭 岩崎民平辞典の生成過程について (1)

寺田芳徳 広島英学と慶応義塾

日本英学史学会広島支部 1991 年度活動報告 / 編集後記

## 『英學史會報』第 16 号 1993 (平成 5) 年 5 月

定宗一宏 [卷頭言]

[研究論考]

田中正道 森正俊宛書簡から浮かぶ H・E・パーマーの顔

松村幹男 広島英語教育研究所について—英語教育研究への道

野村勝美 大正後期における英語教育—広島県立府中中学校の場合  
日本英学史学会広島支部 1992 年度活動報告／会則・役員／編集後記

## 『英學史會報』第 17 号 1994 (平成 6) 年 5 月

妹尾啓司 [卷頭言] 御挨拶

[研究論考]

森 悟 鳥取の英学—洋学小校について

寺田芳徳 『英訳 漢土訓語 天』(ジョン・フランシス・デヴィヴィス著, 中村正直  
訓点) の知られざる側面

隅 慶秀 日本英学史学会第十一回大会における日本英学史資料展覧会について

[英学史時評]

五十嵐二郎 児童英語教育と「小学校教則大綱」(明治 24 年)

[特別記事]

松村幹男 日本英学史学会広島支部—創設のころ

竹中龍範 『英学史會報』編集を振り返って

日本英学史学会広島支部設立趣意書／同 1993 年度活動報告／会則・役員／編集後記

## 『英學史會報』第 18 号 1995 (平成 7) 年 5 月

妹尾啓司 [卷頭言] 御挨拶

[特別寄稿]

定宗一宏 広島英学の回顧と展望—支部創設を視点に—

井田好治 歴史的な存在としての英学—今日的課題と方法について—

[研究論考]

田中正道 森正俊宛書簡から浮かぶ H.E.パーマーの顔(2)

Dowding, Piers H. T., Some Observations on Professor Toyoda Minoru's "Research  
into the History of English Learning in Japan".

[シンポジウム] 「日本英語教育史から見る指導要領改正の意義」

五十嵐二郎 「日本英語教育史から見る指導要領改正の意義」：雑感

竹中龍範 戦後英語教育の不易流行

河口 昭 英語教育史から見る指導要領, 改正の意義—現場で考えること—

[研究ノート]

妹尾啓司 岡山・広島県下における洋学者  
—主として蘭・英・仏学研修者調査のための一試案—

[英学史時評]

寺田芳徳 英学の心と文化の交流—言語教育と翻訳の間—  
日本英学史学会広島支部 1994 年度活動報告／会則・役員／編集後記

## 『英學史會報』第 19 号 1996 (平成 8) 年 5 月

妹尾啓司 [巻頭言] 御挨拶

[研究論考]

松村幹男 広島高師英語教授・杉森此馬

野村勝美 倉田百三とキリスト教—英訳本『出家とその弟子』をとおして—

名柄迪 Professor Michio Masui's Second Visit to Ann Arbor, Michigan, and  
the Middle-English Dictionary Project of the University of Michigan

[研究ノート]

下笠徳次 『完訳 カンタベリー物語』(岩波文庫, 上・中・下三巻) の口述筆記に参加して

[書評]

竹中龍範 小篠敏明著『Harold E. Palmer の英語教授法に関する研究—日本における展開を中心として—』

[英学史時評]

田中正道 日本滞在中の H・E・パーマーの出入国

竹中龍範 戦後 50 年の英学

[追悼記事]

定宗一宏 伊東隆夫先生を偲んで

日本英学史学会広島支部 1995 年度活動報告／会則・役員／『英學史會報』執筆要領／  
編集後記

## 『英學史會報』第 20 号 1997 (平成 9) 年 5 月

妹尾啓司 [巻頭言] 御挨拶

[研究論考]

上杉進 岩国英国語学所と英国人教師ステーベンス

松村幹男 野上源造について—広島高師附属中学初代英語科主任の事績

[研究ノート]

河口昭 『浅田榮次追懷録』復刻の意義

[資料紹介]

寺田 芳徳 広島藩（三原支藩）招聘英国人士官ブラックモールの事蹟  
—幕末・明治初年英学創始の検証

[英学史随想]

小篠 敏明 広島の学風

[英学史時評]

妹尾 啓司 英学史研究によせて

隈 慶秀 小野圭の『英文の解釈研究法』再考

—「ゆれる英語教育」の時代における英語参考書

日本英学史学会広島支部 1996 年度活動報告／会則・役員／『英學史會報』執筆要領／  
編集後記

『英學史論叢』（改題）第 1 号（通巻 21 号） 1998（平成 10）年 5 月

妹尾 啓司 [巻頭言] 御挨拶

竹中 龍範 改題の辞

[研究論考]

平田 論治 岡倉由三郎『ザ・ジャパニーズ・スピリット』考

竹中 龍範 神原文庫所蔵の蘭・英学資料について

松村 幹男 櫻井 役と英語教育史

隈 慶秀 小野圭次郎について—旧制小倉中学校を中心として—

[英学史随想]

上 杉 進 日記を通してみた浅田栄次

田 鍋 薫 「変則」よし、「正則」よし、'Principled Eclecticism'へ

[英学史時評]

小篠 敏明 コミュニケーション時代の英語教育

[書評]

竹中 龍範 松村幹男著『明治期英語教育研究』

日本英学史学会広島支部 1997 年度活動報告／設立趣意書／会則・役員／『英學史論  
叢』執筆要領／編集後記

『英學史論叢』第 2 号（通巻 22 号） 1999（平成 11）年 10 月

妹尾 啓司 [巻頭言] 御挨拶

寺田 芳徳 [ごあいさつ] 新しい未来を拓く広島支部の歩み—新英学の地平

[研究論考]

松村 幹男 定宗数松と英語教育史



竹中龍範 もうひとつのヘボン字書—*A Pocket Edition of Japanese Equivalents for the Most Common English Words* をめぐって

[特別講話]

寺田芳徳 日本英学発達史の基礎研究—英学思想と文化を探ねて

[英学史随想]

竹中龍範 史料の収集・保存をめぐって

[英学史時評]

小篠敏明 パーマー没後 50 年

[書評]

小篠敏明 田中正道著『日本の英語学力評価—回顧と展望—』

[追悼]

松村幹男 今石益之先生を偲びて

日本英学史学会広島支部 1998 年度活動報告／設立趣意書／会則・役員／『英学史論叢』執筆要領・標準書式／編集後記

## 『英学史論叢』第 3 号（通巻 23 号） 2000（平成 12）年 5 月

寺田芳徳 [巻頭言] 世界に開かれた英学史研究

[研究論考]

竹中龍範 H. E. Palmer と早期英語教育

田中正道 日本滞在中の H. E. パーマーの海外渡航

風呂 鞏 小日向定次郎と恩師小泉八雲先生

松村幹男 金子健二『英語基礎学』（大正 7 年）について

松村幹男 菱沼平治と英語教育

[シンポジウム] 「古きをたずねて新しきを知る—庄原における近代教育と英学」

松村幹男 庄原例会・シンポジウム記録

国利義勇 古きをたずねて新しきを知る—庄原における近代教育の歩み

寺田芳徳 世界に立つ庄原英学校—その歴史・文化的意義について

妹尾啓司 異文化を摂取した備北の地域

[英学史随想]

竹中龍範 資料を見る目

[英学史時評]

竹中龍範 英語第二公用語化論をめぐって

[書評]

妹尾啓司 寺田芳徳著『日本英学発達史の基礎研究』

多田保行 田鍋 薫著『英文読解のプロセスの指導』

日本英学史学会広島支部 1999 年度活動報告／設立趣意書／会則・役員／『英学史論叢』執筆要領・標準書式／編集後記

『英學史論叢』第4号(通巻24号) 2001(平成13)年5月

寺田芳徳 [巻頭言] 英学史研究と『英學史論叢』への道程と展望

[特別寄稿]

宮田伊津美 岩国の洋学

[研究論考]

野村勝美 倉田百三に宛てたロマン・ロランの手紙—原文の解説とその英語訳の試み

伊藤弘之 山本忠雄博士の「滞英日記」について

風呂鞏 Percival Lowell と Lafcadio Hearn

上杉進 英学への道—in Choshu (1)

[英学史随想]

河口昭 万年英学徒の愚痴

[英学史時評]

寺田芳徳 英学史の研究における問題意識

竹中龍範 先行研究の調査と新刊情報

[書評]

松村幹男 妹尾啓司著『国際文化交流史論—近世日本文化とヨーロッパ文化—』

日本英学史学会広島支部 2000 年度活動報告／設立趣意書／会則・役員／『英學史論叢』執筆要領・標準書式／編集後記

『英學史論叢』第5号(通巻25号) 2002(平成14)年5月

松村幹男 [巻頭言] 広島英語教育史への思いをこめて

[研究論考]

松村幹男 牧一について

竹中龍範 新教授法の紹介とW・フィエター—フィエターはどこに？

山本勇三 第5回中国五県春季英語特別講習会—英語指導法の軌跡

[報告]

岡田秀昭 昭和20年代の英語学習—恩師と師範予科—

[追悼]

多田保行 橋本保人先生の死を悼む

[英学史時評]

河口昭 浅田榮次, 東京外国語大学新キャンパスに立つ!

竹中龍範 TENOR?

[書評]

馬本勉 小篠敏明・中村愛人[著]『明治・大正・昭和初期の英語教科書に関する研究—質的分析と解題—』

日本英学史学会広島支部 2001 年度活動報告／設立趣意書／会則／『英學史論叢』執筆  
要領・標準書式／編集後記

## 『英學史論叢』第 6 号（通巻 26 号） 2003（平成 15）年 6 月

松村 幹男 [巻頭言] 高い山からの展望を求めて

[研究論考]

田中正道 平川唯一と「カムカム英語」

上杉 進 村上英俊『英語箋 一名米語箋』の再評価とその中に現れたハ行の子音  
h と f の関係について

[報告]

河口 昭 新しい浅田栄次研究の展開

[英学史随想]

松村 幹男 母たちの英語学習史

中舛俊宏 田中菊雄と呉中学（現呉三津田高校）

[英学史時評]

竹中龍範 英語教育改革の大きなうねり—その先に見据えておくべきもの—

[書評]

風呂 鞏 金子三郎編『記録 東京帝大一学生の聴講ノート』

日本英学史学会広島支部 2002 年度活動報告／設立趣意書／会則・役員／『英學史論  
叢』執筆要領・標準書式

[付録]

小篠敏明 「赤祖父茂徳文庫」資料：前橋中学校 昭和 15 年度教科書一覧表／The  
Hamamatsu Second Middle School. English Teaching: Its Theory  
and Practice, Part I, 1929.

編集後記

## 『英學史論叢』第 7 号（通巻 27 号） 2004（平成 16）年 5 月

小篠敏明 [巻頭言] 収穫，そして播種の時

[研究論考]

松村 幹男 太平洋戦争中の英語研究

野村勝美 倉田百三の外国語にふれる—「愛と認識との出発」をとおして

風呂 鞏 大学入試とラフカディオ・ハーン

次重寛禧 B. H. Chamberlain の日本語習得と研究—第 2 言語習得論の観点より

[英学史随想]

松村 幹男 佐藤博さんの人と業績

[追悼]

寺田芳徳 神鳥武彦先生の人と学問—学友の面影をしのいで

[英学史時評]

竹中龍範 音読ブームに想う

日本英学史学会広島支部 2003 年度活動報告／設立趣意書／会則／『英学史論叢』執筆  
要領・標準書式／編集後記

[付録]

事務局 「赤祖父茂徳文庫」資料：箕作佳吉「中等教育ノ不結果」『東洋學藝雑誌』  
第 296 号

『英学史論叢』第 8 号（通巻 28 号） 2005（平成 17）年 7 月

小篠敏明 [巻頭言] 妹尾啓司文庫への期待

[研究論考]

松村幹男 直読直解の概念と用語について

田村道美 漱石と The Lotus Library (1)—Sappho の書き込みを中心に—

馬本勉 明治期の英語授業過程に関する一考察

—広島高等師範学校附属中学校の教育実習教案下書をもとに—

[講演]

五十嵐二郎 英語へ最敬礼の旅

[シンポジウム] [「広島支部の歩みを振り返って」]

定宗一宏 広島支部の歩みを振り返って—ご挨拶—

寺田芳徳 広島支部の歩みを振り返って—これからを展望しつつ—

松村幹男 英学史広島支部—回顧と展望—

[英学史随想]

風呂鞞 ハーンと防災教育

[英学史時評]

馬本勉 「袖珍辞書」の新時代

[追悼]

松村幹男 植木松太郎先生の思い出

日本英学史学会中国・四国支部 2004 年度活動報告／日本英学史学会広島支部設立趣  
意／会則・役員／『英学史論叢』執筆要領・標準書式／編集後記

[付録]

事務局 「赤祖父茂徳文庫」資料：神田乃武「英語學ノ研究」『東洋學藝雑誌』第  
153 号

## 『英學史論叢』第9号(通卷29号) 2006(平成18)年5月

竹中龍範 [巻頭言] 外国語学習の精神をいま一度歴史に学んでは  
[研究論考]

松村幹男 永原敏夫の英語教育研究

佐光昭二 伊藤俊介と高橋顯正の英学修業(中四国英学史話 その1)

竹中龍範 高等小学校英語教員に求められた英語力

田村道美 漱石と The Lotus Library (2)—*La Faustin* の書き込みを中心に—

松村幹男 広島英語教育研究所とその活動—終戦前12年の軌跡:年表を中心に—

保坂芳男 明治期における山口の英語教師(1)—国木田独歩—

[研究ノート]

隈慶秀 英語授業視察復命書と奥 太一郎—明治30年代英語教育史研究(2)—

[英学史随想]

中舛俊宏 呉三津田高校における田中菊雄講演会—田中先生が三津田ヶ丘に残してくれたもの—

[英学史時評]

馬本勉 CALLをどこに位置づけるか

日本英学史学会中国・四国支部 2005年度活動報告/日本英学史学会広島支部設立趣  
意書/会則・役員/『英学史論叢』執筆要領・標準書式/編集後記

[付録]

小篠敏明 妹尾啓司文庫目録

## 『英學史論叢』第10号(通卷30号) 2007(平成19)年5月

竹中龍範 [巻頭言] 支部発足30周年

[研究論考]

佐光昭二 毛利元功ら縉紳家洋行事始(中四国英学史話 その2)

竹中龍範 オーラルメソッド—もう一つの実践—京都府立福知山中学校の場合—

保坂芳男 岩国英国語学校教師ステーベンスに関する研究

—採用経過, 契約を中心として—

田村道美 漱石と The Lotus Library (3)—*A Woman's Soul* の書き込みを中心に—

[研究ノート]

松村幹男 明治期英語授業史へのアプローチ

五十嵐二郎 山口喜一郎著『日本語教授原論』(昭18年)と Gouin Method

隈慶秀 英語授業視察復命書と奥 太一郎 その2

—明治30年代英語教育史研究(2)—

[30周年記念・英学史随想]

田中正道 どちらが正しいの?—複数の情報との戦い—

松村幹男 英語教育史研究に寄せる  
竹中龍範 30年 = 「十年一昔」×3 ... ?  
—『英學史會報』・『英學史論叢』の30年—

[英学史随想]

中舛俊宏 呉英語学校と戦艦大和  
—大和を建造した呉海軍工廠の職員の多くが学んだ夜間中学—  
保坂芳男 人生の転機となった英学史との出会い  
松村幹男 佐護恭一先生のこと

[追悼]

竹中龍範 妹尾啓司先生を偲んで  
寺田芳徳 江川義雄先生を偲んで—医史学と英学史の基底の片鱗に触れる—

[英学史時評]

竹中龍範 『英和對譯袖珍辭書』原稿出現の驚き

[資料]

事務局編 日本英学史学会広島支部及び中国・四国支部年表稿  
事務局編 『英學史會報』・『英學史論叢』30年のあゆみ  
日本英学史学会中国・四国支部 2006年度活動報告／平成17・18年度日本英学史学会  
中国・四国支部役員／日本英学史学会広島支部設立趣意書／日本英学史学会中国・四  
国支部会則／『英學史論叢』執筆要領・標準書式／編集後記

『英學史論叢』第11号(通巻31号) 2008(平成20)年5月

竹中龍範 [巻頭言] 日本英学史学会と日本英語教育史学会 初めての合同全国大  
会—そのお土産は

[研究論考]

保坂芳男 岩国英国語学所の卒業生の進路に関して  
—教師ステーベンスの影響に焦点をあてて—  
松村幹男 英語学習史の視座  
松村幹男 『英学月報』について—昭和戦後期英語教育史寸描—

[研究ノート]

田中正道 井上通信英語学校の月刊雑誌 *English*  
隈慶秀 明治31年の第五高等学校における尋常中学校協議会議事録  
—英語教育史資料としての観点から—

[30周年記念例会記録]

[特別講話]

定宗一宏 支部創設の頃を振り返って

[講演]

伊藤弘之 Charles Dickens, *American Notes* (1842) について

[シンポジウム]「これからの英学史研究」

隈 慶 秀 「続 日本英学風土記（北九州編）」を目標に  
—英学史地域研究について—

中 舂 俊 宏 呉地域の英学史（近・現代）

馬 本 勉 「広島県の英学史」情報検索サイト構築の試み  
—備北の英語教育史を中心として—

[英学史随想]

五十嵐二郎 井内慶次郎先生と『明治文教の曙』

[書評]

寺 田 芳 徳 佐光昭二著『阿波洋学史の研究』

[英学史時評]

馬 本 勉 「必修語」の 50 年

日本英学史学会中国・四国支部 2007 年度活動報告／平成 19・20 年度日本英学史学会  
中国・四国支部役員／日本英学史学会広島支部設立趣意書／日本英学史学会中国・四  
国支部会則／『英學史論叢』執筆要領・標準書式／編集後記

## 『英學史論叢』第 12 号（通巻 32 号） 2009（平成 21）年 5 月

竹 中 龍 範 [巻頭言] 新たな一步を踏み出して

[研究論考]

松 村 幹 男 「英語教授」と「英語教育」—通史に於ける用語変遷小史—

馬 本 勉 広島中学校『英語之基礎』における語彙選定

[研究ノート]

隈 慶 秀 明治 31 年の第五高等学校における尋常中学校協議会議事録 (3)  
—五高入試英語成績の概況報告から—

[書評]

小 篠 敏 明 Masamichi Tanaka, *A History of English Language Testing in Japan*

[英学史随想]

保 坂 芳 男 英学史におけるエスノグラフィー研究

五十嵐二郎 「道」を忘れない日本人の育成：心と氣と志

—上寺久雄著『「日本のこころ」の底から：「日本を消す教育」から  
「日本の見える教育」へ』—

[英学史時評]

五十嵐二郎 「英語の授業は英語で」の問題点—日本語による一般化の推進を—

Umamoto, Tsutomu. Teaching English in English: Back to Basics?

日本英学史学会中国・四国支部 2008 年度活動報告／日本英学史学会広島支部設立趣  
意書／日本英学史学会中国・四国支部会則／平成 19・20 年度日本英学史学会中国・四  
国支部役員／『英學史論叢』執筆要領・標準書式／編集後記

## 『英學史論叢』第 13 号 (通卷 33 号) 2010 (平成 22) 年 5 月

竹中龍範 [巻頭言] 新たな門出より 13 号を迎えて

[研究論考]

竹中龍範 新学習指導要領と日本の英語教育

—明治期英語教育との比照を通して—

田邊祐司 日本英語音声教育史：杉森此馬の指導観

松村幹男 雑誌『英語教育』について—昭和戦前期英語教育史研究—

[研究ノート]

隈慶秀 明治 31 年の尋常中学校英語科教授法案について

—「尋常中学校英語科教授細目」と関連して—

野村勝美 ロマン・ロランの「序文」—仏語版『出家とその弟子』への—

[シンポジウム]「新学習指導要領と日本の英語教育：英学史からの提言」

小篠敏明 Palmer の時代から

三浦省五 戦後の英語教育から

松岡博信 第二言語習得研究の歴史から

[英学史時評]

松村幹男 定宗数松先生没後七十年に想う

[英学史随想]

鉄森令子 未来の過去

日本英学史学会中国・四国支部 2009 年度活動報告／平成 21・22 年度日本英学史学会

中国・四国支部役員／日本英学史学会広島支部設立趣意書／日本英学史学会中国・四

国支部会則／『英學史論叢』執筆要領・標準書式／編集後記

## 『英學史論叢』第 14 号 (通卷 34 号) 2011 (平成 23) 年 5 月

竹中龍範 [巻頭言]「彰往考来」再び

[研究論考]

松村幹男 文部省主催中等教員英語講習会—広島開催の事例を中心に—

隈慶秀 昭和 24 年の英語科教員再教育講習会

—Virginia Geiger 女史のもたらしたもの—

保坂芳男 竹林文庫に関する研究—教科書原稿の分析—

[英学史随想]

中舛俊宏 木原秀三郎 (広島女学院の始祖) と坂本龍馬

—幕臣・勝安房の海舟塾での出会いから—

五十嵐二郎 人間を人間にする教育—吉本教授学の「知」の課題—

[英学史時評]

馬本 勉 グレン・W・ショー没後 50 年



日本英学史学会中国・四国支部 2010 年度活動報告／平成 21・22 年度日本英学史学会  
中国・四国支部役員／日本英学史学会広島支部設立趣意書／日本英学史学会中国・四  
国支部会則／『英學史論叢』執筆要領・標準書式／編集後記

## 『英學史論叢』第 15 号（通卷 35 号） 2012（平成 24）年 5 月

竹中龍範 [巻頭言] 行春を近江の人と惜しみける

[研究ノート]

隈 慶 秀 新制高校で求められた英語学力—昭和 20 年代後期英語教育史—

保坂芳男 竹林文庫に関する研究 (2)—翻訳原稿の分析—

[英学史随想]

五十嵐二郎 長田 新：英語科教授論と現代—没後 50 年に思う—

松村幹男 英語教育史発心を探る—桜井 役の場合—

松村幹男 広島英語教育史：資料と解題

松村幹男 新しい学問構築へのアプローチ

[追悼]

竹中龍範 松村幹男先生—日本英学史学会広島支部とともに—

五十嵐二郎 一筋の人：松村幹男先生

小篠敏明 先生は偉大でした

田村道美 松村先生の思い出

上杉 進 松村幹男先生

河口 昭 死ぬまで英学史をやりたい

田中正道 松村先生と W. Viëtor の『言語教育の転換』

風呂 鞏 松村幹男先生の思い出

隈 慶 秀 松村幹男先生より学んだこと—努力史としての外国語教育史研究—

保坂芳男 松村先生、これからも、。

鉄森令子 拝啓 松村幹男先生

馬本 勉 松村幹男先生からの送り状

風呂 鞏 恩師田村一郎先生を偲ぶ

竹中龍範 田村一郎先生—支部創設時よりご一緒いただいて—

伊藤弘之 田村一郎氏の死を悼む

五十嵐二郎 人生派の人：田村一郎先生

松岡博信 田村一郎先生とのある思い出

隈 慶 秀 田村一郎先生の思い出

鉄森令子 冬来たりなば、春遠からじ

馬本 勉 天水の丘の田村一郎先生

[英学史時評]

馬本 勉 大正 100 年の広島英学史

日本英学史学会中国・四国支部 2011 度活動報告／平成 23・24 年度日本英学史学会中国・四国支部役員／日本英学史学会広島支部設立趣意書／日本英学史学会中国・四国支部会則／『英學史論叢』執筆要領・標準書式／編集後記

## 『英學史論叢』第 16 号（通卷 36 号） 2013（平成 25）年 5 月

竹中龍範 [巻頭言] 開成所から 150 年

[研究論考]

竹中龍範 入江祝衛『英文法辞典』をめぐって—隠れたコロケーション辞典—

野村勝美 『出家とその弟子』の「序曲」—原文と英仏訳文との比較考察—

藤本文昭 太平洋戦争下の愛媛県今治地域での英語教育

[英学史随想]

五十嵐二郎 皇至道：教科教育学の樹立—没後 25 年に思う—

[書評]

田中正道 『鳥取の英学』（森悟著）

馬本勉 『修猷館の英語教育 明治編』（安部規子著）

鉄森令子 『日本少年—少年少女版—』（菅紀子訳）

日本英学史学会中国・四国支部平成 24 年度活動報告／平成 24 年度日本英学史学会中国・四国支部役員／日本英学史学会広島支部設立趣意書／日本英学史学会中国・四国支部会則／『英學史論叢』執筆要領・標準書式／編集後記

## 『英學史論叢』第 17 号（通卷 37 号） 2014（平成 26）年 5 月

田村道美 [巻頭言] ご挨拶

[研究ノート]

安部規子 日本統治下の朝鮮における中学校とその英語教育について

[英学史随想]

五十嵐二郎 荘司雅子：国際理解の教育と協力—没後 17 年に憶う—

[書評]

馬本勉 『海軍兵学校英学文献資料の研究—広島大学転用図書に基づく、目録の作成，英学と福音・言語教育と平和への望み—』（寺田芳徳著）

[追悼]

田村道美 寺田芳徳先生と日本英学史学会中国・四国支部

上杉進 寺田芳徳先生の思い出

竹中龍範 寺田先生—悠揚迫らぬその風

五十嵐二郎 寺田芳徳先生：平和を求め英学文献解題に生きた篤学の士

馬本勉 寺田先生と庄原英学校

田中正道 寺田芳徳先生を偲ぶ

鉄森令子 笑顔の素敵な寺田先生  
風呂 鞏 寺田芳徳先生を偲んで  
保坂芳男 寺田先生、後はお任せください。  
隈 慶 秀 寺田芳徳先生との思い出

[資料]

事務局編 日本英学史学会広島支部及び中国・四国支部研究例会の歩み  
日本英学史学会中国・四国支部平成 25 年度活動報告／平成 25・26 年度日本英学史学会中国・四国支部役員／日本英学史学会広島支部設立趣意書／日本英学史学会中国・四国支部会則／『英學史論叢』執筆要領・標準書式／編集後記

『英學史論叢』第 18 号（通巻 38 号） 2015（平成 27）年 5 月

田村道美 [巻頭言] ご挨拶

[研究論考]

田村道美 漱石と The Lotus Library (4) — *The Nabob* の書き込みを中心に —

[資料紹介]

隈 慶 秀 大正 10 年の英語授業視察（福岡・佐賀・長崎）  
—防長教育會委託學事視察復命書より—

[シンポジウム] 「英学史研究とこれからの英語教育」

鉄森令子 中学校・高等学校の教育現場から  
能登原祥之 教師と生徒が触れる英文を考える  
隈 慶 秀 教室での実践史にヒントを求める  
馬本 勉 訳読史とアクティブ・ラーニング  
保坂芳男 教員養成の立場から歴史研究をみる

[英学史随想]

五十嵐二郎 佐藤正夫：教授・学習過程—教科の論理と生活の論理—

[追悼]

五十嵐二郎 日本英学史学会広島支部の生みの親：定宗一宏先生を憶う

竹中龍範 定宗一宏先生を偲んで

馬本 勉 定宗先生と広島外国語学校

<再掲> 定宗一宏先生の巻頭言

日本英学史学会中国・四国支部平成 26 年度活動報告／平成 25・26 年度日本英学史学会中国・四国支部役員／日本英学史学会広島支部設立趣意書／日本英学史学会中国・四国支部会則／『英學史論叢』執筆要領・標準書式／編集後記

『英學史論叢』第 19 号 (通卷 39 号) 2016 (平成 28) 年 5 月

田村道美 [巻頭言] 漱石と豊一郎と『ガリヴァの旅』

[研究論考]

河村和也 新制高等学校発足期の入学者選抜における英語の位置付けについて：  
高知県の場合

[研究ノート]

隈慶秀 昭和 19 年入学旧制中学 1 年生の英語ノート  
—昭和 10 年代後期英語教育史—

[英学史随想]

五十嵐二郎 飯島宗一：実践を伴う学問研究—没後 13 年に思う—

[資料]

事務局編 日本英学史学会中国・四国支部 年表稿 (2006~2016)

日本英学史学会中国・四国支部平成 27 年度活動報告／平成 27・28 年度日本英学史学会中国・四国支部役員／日本英学史学会広島支部設立趣意書／日本英学史学会中国・四国支部会則／『英學史論叢』執筆要領・標準書式／編集後記

『英學史論叢』第 20 号 (通卷 40 号) 2017 (平成 29) 年 5 月

田村道美 [巻頭言] 祝『英學史論叢』第 20 号

[研究論考]

竹中龍範 松山時代の漱石—英語教師夏目金之助の実像—

野村勝美 助動詞「ただ」の英・仏語訳をめぐって  
—『出家とその弟子』とその英仏訳本からの考察—

[研究ノート]

田村道美 3 種の The Lotus Library について

[英学史随想]

五十嵐二郎 田中隆莊：予習復習の人生と啐啄の機—没後 10 年に思う—

竹中龍範 広島の英語教育誌：その系譜と性格—補記 *Urn* 誌のこと—

[書評]

堂鼻康晴 『岡山県中学校・高等学校英語教育史年表』(山田昌宏著)

安部規子 『旧制岡山中学校史余録』(後神俊文著)

保坂芳男 『武信由太郎伝』(森悟著)

日本英学史学会中国・四国支部平成 28 年度活動報告／平成 27・28 年度日本英学史学会中国・四国支部役員／日本英学史学会広島支部設立趣意書／日本英学史学会中国・四国支部会則／『英學史論叢』執筆要領・標準書式／編集後記

## 『英學史論叢』第21号（通卷41号） 2018（平成30）年5月

竹中龍範 [巻頭言] 学統を継ぐ，築く

[研究論考]

田村道美 日本における *Pride and Prejudice* の受容  
—漱石，豊一郎，弥生子を中心に—

竹中龍範 英字新聞 *The New Japan* 紙のこと—新学制発足期の英語学習副教材—  
[英学史随想]

五十嵐二郎 佐藤清太：「心学」に学ぶ信念の人—教授と学生—

河村和也 40年前の『クラウン』のこと

[追悼]

鉄森令子 *A Conservative* [風呂鞆氏追悼—事務局補注]

日本英学史学会中国・四国支部平成29年度活動報告／平成29・30年度日本英学史学会中国・四国支部役員／日本英学史学会広島支部設立趣意書／日本英学史学会中国・四国支部会則／日本英学史学会中国・四国支部編集委員会規程／『英學史論叢』執筆要領・標準書式／編集後記

## 『英學史論叢』第22号（通卷42号） 2019（令和元）年5月

竹中龍範 [巻頭言] 楠学問か梅木学問か

[研究論考]

竹中龍範 『用法例解英和新辞典』（1913）に見るコロケーションの認識

竹中龍範 英和辞典とコロケーション情報—明治末期・大正初期に見るその萌芽—

[英学史随想]

五十嵐二郎 川地理策：幅広い教育活動—「親心」と「子心」—

田中正道 英文学受難の時代

日本英学史学会中国・四国支部平成30年度活動報告／平成29・30年度日本英学史学会中国・四国支部役員／日本英学史学会広島支部設立趣意書／日本英学史学会中国・四国支部会則／日本英学史学会中国・四国支部編集委員会規程／『英學史論叢』執筆要領・標準書式／編集後記